

# サンガ小倉

2019年  
秋号

令和元年  
9月発行

## 「ねがい」

教泉寺住職 池尻 正道

見えない根たちの  
ねがいがこもつて  
あのような  
美しい花となるのだ

坂村 真民



お寺の境内にはたくさんのか  
草木が植えられています。私は  
その中でも特に牡丹が好きな  
んです。なんで好きなのかと言  
葉にするのは難しいですが、あ  
るの細い枝に大輪の花が咲いて  
いるのをみると、ああ、一年間  
頑張つて花を咲かせたんだな  
という気持ちになるからで  
しょうか。

また、牡丹という花と仏教と  
はとても縁が深いんです。お寺  
のことがあります。それは唐獅子の

体に生まれる虫です。毛の中に  
生まれて、やがてその虫が増え  
ると皮を食いやぶり、肉を食つ  
て唐獅子を殺してしまいます。  
でもこの虫には弱点があつて、  
牡丹の花から滴り落ちる夜露に  
当たると死んでしまいます。そ  
のことを知っている唐獅子は、  
夜になると牡丹の花の下で休む  
んだそうです。唐獅子が牡丹の  
下で休むと、もはや恐れるもの  
は何一つありません。牡丹に唐  
獅子とは、何も妨げとなるもの  
がないということ。その姿がよ  
く阿弥陀さまを安置する台座  
(須弥壇)に彫られています。

このように仏教と縁が深い  
牡丹ですが、の大輪の牡丹が  
咲くためには、土の中の根っこ  
が絶えず水分や養分を送り続  
けないといけません。私たちの  
目には見えない根っこたちの  
願いはたらきがあつて、あの  
美しい大輪の花が咲くわけな  
んです。唐獅子には唯一、恐れるも

私たちの身に置き換えます

と、今ここに私という大輪の花  
が咲いているということは、こ  
の私にたくさんの願いがかけ  
られているということなんで  
す。でも自分がああしたい、こ  
うしたいという願いはわか  
ても、自分にかけられている願  
いというものには、なかなか気  
づくものではありません。  
命は大切だ 命を大切に  
そんなこと何千回何万回言わ  
れるより あなたが大切だ  
誰かがそう言つてくれたら  
それだけで生きていける  
この言葉を以前聞いて、とて  
も心が励まされたことを覚え  
ています。

私という大輪の花がここに  
咲いているということは、あな  
たが大切だと願い、はたらきか  
けてくれている存在が必ずあ  
るということなんです。私が気  
づこうと気づくまいと、その願  
いは変わることなく私を包ん  
でいてくださいます。